

大学院入学試験

2009年8月18・19・20日、僕たち4回生は修士課程入学試験を受験しました。今回は内部生だけで既に4人、そして外部からの刺客（彼は爽やか好青年だった…）の参入もあって、激しい戦いが予想されていました。さらに、京都大学の建学の精神である「自由の学風」をはき違え、ただただ「自由に遊んで暮らすこと」にこれまでの学生生活を捧げてきた僕たち（僕だけ？）にとって、4年前の大学受験時における頭の柔らかさ・集中力・単語力は既に過去の遺産と化していました。しかしそこは腐っても鯛、なめてもらっては困りますよと自分自身を奮い立たせ（実際は周りの受験生みんな鯛ばかりなのですが…）、長期休暇中であった勉

強用頭脳を呼び起こして受験に向けた準備を進めていきました。

そして決戦の時。筆記試験は、1日目に英語と専門科目①、2日目に専門科目②となっていました。久しぶりに味わう緊張感と疲労感でくたくたになりましたが、各々自分の持ちうる知識を総動員してベストを尽くせたのではないのでしょうか。3日目は面接でしたが、畜資受験者は全員スーツでピシッときました。人は9割が見た目で決まるといわれる昨今ですから、こころへんはサスガといったところ。

まあ何はともあれ、3日間大きな問題もなく無事に終わられてよかったですね。（いっしー）



目次:

広岡先生の随筆～ ◎人の限界、家の限界	2
関西畜産学会	3
山羊サミット報告	3
ばんえい競馬	4
馬に乗ってみませんか	4
お知らせ	5

大文字の送り火

8月16日、京の夏の夜を焦がす「五山送り火」が行われ、それにあわせて大文字鑑賞会＋北の海の幸に舌鼓飲み会が開かれました。メンバーは、ようこさん・西尾さん・木村さん・柳さん・稲垣さん・木村 Jrくん・石田、そして途中からようこさんのお友達も来て下さいました。



夕方4時、人がごった返す出町柳駅に集合し、買出しを済ませたあと柳さん宅へ向かいました。ちなみにこの日西尾さんは体調不良だったため、この時点で既にグロッキー。。。柳さん宅に到着し、車庫にあった〇〇〇に深々と一礼した後、早速お邪魔させていただきました。そしてキッチンをお借りして、ようこさんが腕によりをかけて北海道の厳選素材（毛ガニ・花咲ガニ・さんま・たらかま・ほっけ）を調理してください

ました。男性陣も腕によりをかけて大根をおろしました。料理はどれも、サスガ北海道！サスガようこさん！抜群に美味しかったです。

そして点火が始まる夜8時を前に、ようこさん宅のマンション屋上に移動しました。8時に「大文字」が点火されると、暗闇に赤い炎が煌々と現れてなんとも幻想的でした。「妙・法」、「舟形」、「左大文字」も見え、五山送り火をととも満喫できました。ようこさん、立地条件抜群の超優良物件にお住まいなんですね☆



院試前でしたが、参加できて良かったです。柳さん・ようこさんを初め、皆様どうもありがとうございました！！また来年も皆で見られたら良いですね。（いっしー）

なかなか明けない梅雨を恨めしく思っていた8月、やっと夏が来たかと思ったら、もう秋の空です。明らかに異常気象。日照不足で葉野菜や根菜が高騰しています。

異変は日本の政治にも起こっています。8月30日に行われた総選挙は、民主党の圧勝（308議席）。政権交代、5兆円の子育て支援。そんな物議の中での消費者庁発足…

先の見えない不安や不信感を、気象や政治のせいにはできません。一人ひとりがきちんと生きる力を身に付けなくてはならないな、と強く思う今日この頃です。

好評連載 広岡先生の随筆

②6 人の限界、家の限界



人には、それぞれの能力に限界があり、場合によってはいくら努力してもその自分の限界に直面することがある。それでもその限界を超えられるかどうかはあくまでも個人の努力の問題である。このような限界は、「人の限界」と呼ぶことができる。しかし、人は、時としてもう一つのより深刻な限界に遭遇することがある。それが「家の限界」である。その人の家族、親戚がもつ限界である。この家の限界は、冠婚葬祭や進路に直面した時にその人の前に大きく立ちふさがる。



およそ60年前、私の母は大学に行きたかったにもかかわらず、「女に学問はいらない」と言う祖父の反対で、大学に行くことができず、しばらく働いた後に祖母の協力のもとで何とか短大に行くことができたそうである。もし、母が男子であればこのようなことは決して起こらず、それが当時の私の家の限界であった。

最近でも、学生の中には、自分の研究が楽しくなり、また大きなチャンスに恵まれて、修士課程あるいは博士過程に進もうとしても、家族の賛同が得られず、断念せざるを得なくなるものがある。また、家庭の経済的な問題であるのならばまだしも、家族に大学院修了者がおらず、大学院へ進学することそのものが理解されずに、結局、経済的な支援を得られないと言う理由から、研究者への道が閉ざされることもある。実際、研究者への道は決して容易ではなく、家族の金銭的なサポートなしには、今の日本では難しいものである。一昔前であれば、大金持ちの一人娘さんと結婚して養子となり、「家の限界」を超えて著名な学者になったというエピソードはどこにでもある話である。

進路に直面し、好きな学業を家の限界のために断念せざるをえなくなる学生を見る度に、私の母が60年前に直面した問題が、今もリアルタイムに起こっていることに驚かされる。また同時に、このような家の限界は、いかに人の人生に大きく影響するかに改めて気づかされる。しかし、このような家の限界は、その家の誰かが、打破する責務がある。そうでなければ、未来永劫に、家族全員がその呪縛に縛られ続けることになる。

かつては、厳然と女性差別が存在し、女性の進学や社会進出が制限されていた。しかし、多くの勇気ある女性たちによって、そのような差別は徐々に取り除かれて現在に至っている。今は、完全ではないにしても、一昔前と比べれば、男女差別は比較にならないほど少なくなってきたと言える。しかし、そのような先駆者は、時代時代でさまざまな迫害を受け、また白い目で見られてきた。そのような中で、彼ら（彼女ら）は、自分のため、未来の人々のためにさまざまな困難と戦いながら前進し、権利を勝ち取ってきた。

私が、博士過程に進学するときに、叔父の一人が私の母に、「なぜ、そんなやくざな道を進ませるのだ」と言ったそうである。しかし、その叔父も今、自分の息子を博士過程に通わせている。先駆者の後ろには、道はできるものである。

広岡博之

関西畜産学会

平成21年度(第59回大会)関西畜産学会は、8月27日(木)・28日(金)、鳥取大学農学部において開催されました。当研究室からは、熊谷先生らが「京都府南丹地域で発生する食品製造副産物の飼料資源賦存量に関する調査」、竹内さんらが「ダイショ茎葉部の調製方法が飼料品質とヤギの嗜好性に及ぼす影響」、木村君らが「核酸添加が粗飼料および濃厚飼料のin vitro/発酵に及ぼす影響」の研究発表を行いました。詳しくは、研究室のHP
<http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/> 研究成果をご覧ください。

全国山羊サミット&日本山羊研究会

全国山羊ネットワーク総会と第12回全国山羊サミットin新潟が29日(土)・30日(日)に新潟県三条市の央地場産業振興センターで開催されました。また、全国山羊ネットワーク研究部会「第10回日本山羊研究会」が、8月28日(金)新潟県央地場産業振興センターで開催されました。当研究室からは、「世界の山羊における交雑に関する研究事情」(塚原・広岡)の発表を行いました。

関西畜産学会第59回大会

8月27・28日、鳥取大学農学部で関西畜産学会が開かれました。お盆前の大雨の影響で京都—鳥取間の一部でバスによる代替輸送が行われていたため、電車組もバス組も移動時間がほぼ同じという状況の中、ちくしからは先生3名と学生2名が参加しました。発表は熊谷先生と木村君が1日目、もう一人の学生が2日目。1日目の二人は発表時間きっちりという見事な時間配分を見せつけてくださいました。



1日目の発表後は懇親会で、個人的に一番盛り上がったのが、元・ちくしメンバーのフランスとの再会でした。懇親会の中で、昔を懐かしんだり、近況報告をしたりしてすごしました。フ

ランスは日畜にも行くそうですよ！とりあえず、元気そうで何よりでした！！

2日目は熊谷先生と広岡先生は座長をされ、スライドを映すために暗くなった部屋の中、先生方の雄姿を写そうと悪戦苦闘したのですが玉砕しました。写真載せたかったんですが。。。お昼に大会が終わり、帰りのバスまで時間があつたので、昼食を食べた後鳥取砂丘へ行ってきました。スーツに革靴はかなり場違いでしたが・・・砂丘での滞在時間は30分程度と、ちょっと短かったので、今度はゆっくり旅行に行きたいです。



山羊サミット報告

10回 日本山羊研究会 & 第12回 全国山羊サミット in 新潟に参加してきました。28日の山羊研究会ではようこさんが「世界の山羊における交雑に関する研究事情」を発表されました。驚いたことに会場は畳の部屋(☉ε☉)！！発表者も座ったままという、珍しいものでした。私は発表中に足がしびれ、我慢するのに必死でした(笑)。その他には、沖縄県での肉用山羊の肥育試験の報告、愛媛県での山羊を活用した除草等事業の実績報告、ベトナムの山羊事情の発表がありました。質問等もたくさんあり、活発な議論が行なわれていました。研究会終了後には、近くの居酒屋さんで懇親会がありました。新潟の美味しいお酒と海鮮でお腹も満たされたみなさんは、近況報告などをしあい、大いに盛り上がっていました。私はというと、いろいろな先生方と名刺交換させていただき、名前を覚えるのに必死でした。それでも、美味しいお料理はきちんとお腹いっぱいいただきました(笑)。



山羊を飼おうと考えている人・山羊を飼っている学校の先生などなど、山羊との関わり方は様々なながらも、山羊好きサンが大集合！！「みんなアツいよ」と聞いてはいましたが、

これほどまでに山羊話がヒートアップするとは思いませんでした。(笑) 講演・事例発表では、学校での山羊飼育に関する議題が多く、山羊の多面的利用性を改めて感じました。



発表の後はホテルへ移動。バスを降りるとそこには、いさり火が焚かれた立派な温泉宿が(๑>๑<๑)♥♥ 到着してすぐ温泉へ！湯船の中で楽しくお話していたら、のぼせてしまうなんてプチハプニングもありましたが(笑)、大きなお風呂に入るのはやっぱりとても気持ちがいいですね♪ 温泉でさっぱりした後は、交流会と言う名の大会。毎年参加している方のお話では、過去最高だと言うほどの大盛り上がりでした。

29、30日は全国山羊サミットが開催され、研究者だけでなく、山羊を飼っている人・山羊商品を販売している人・これから

山羊サミット報告(つづき)

ここでも地酒と海鮮をたくさんいただきました！！二次会は小さな部屋に何十人も集まり、ギューギューで山羊話。最終的には温泉の入り口近くの休憩所で飲んでいました。普段は飲まない日本酒でしたが、そのおいしさと山羊話が楽しくてついつい飲みすぎました(笑)。



次の日(30日)はホテル近くの体験農場で搾乳体験・人工授精のデモンストレーション、ジェラートづくりなど、ミニ学習会が行なわれました。初めて人工授精の様子を見まし

たが、山羊の苦しそうな鳴き声に心が痛みつつも、とても良い勉強になりました。



全体を通して、非常にたくさんの方々と交流することができ、今後の研究だけでなく、将来の生き方についても多くのことを学びました。これから先もずっと、山羊に関わっていきたいと強く思いました。

来年の開催地は沖縄です。台湾に近いこともあり、国際的なサミットになることが予想されます。今年のサミットが終わったばかりですが、今からとても楽しみです(≧▽≦*)

まな

ばんえい競馬

皆さん、ばんえい競馬というものをご存知でしょうか？JRAが主催する競馬とは違った北海道の自治体が運営する伝統のある競馬です。レースの形態はただ走る速さを競い合うというよりも、おもりが乗せられたソリを引いて走るので「力くらべ」と言えます。コースは真っ直ぐで途中に2つの傷害物(大きな丘)があり、レースの勝敗はその丘をいかに上手く駆け上がるかに掛かっています。騎手は丘の手前でパワーを溜めて、一気に駆け上がるように指示を出します。そこには馬との駆け引きが必要で、平地の競馬(普通の競馬)では「騎手3:馬7」と言いますが、ばんえい競馬では「騎手7:馬3」と言われるほど騎手の技量が問われます。レースの見所はやはり2つの丘を力強く駆け上がるところで、1000kg強の体重のばん馬が800kg前後のおもりを砂埃を立てながら進む姿は圧巻です！レースを見る前は真っ直ぐなコースでただおもりを引いているだけの単純なものだと思っていましたが、実際にレースでは騎手と馬の駆け引き、ばん馬の迫力を真近でじっくり見ることができ、予想以上に面白かったです。また、個人的にはレース本番以外にも面白いものがありました。馬のオッズです。競馬ですから、当然どの馬が勝つかを予想し、お金を掛け



るわけですが、その際に表示されているオッズが奇妙なのです。通常、1番、2番の馬の単勝のオッズがそれぞれ2倍、5倍なら、馬単1-2(1番の馬が1着で2番の馬が2着)のオッズは約10倍前後になるはずなのですが、実際には30倍になったり6倍になったりと、大きく期待値からずれた値になっていたのです。原因はお金を掛ける人の数が少なく、偏りが出来るためだと思われます。そのため、なかには意外にオッズの付くお宝馬券があり、それを探しながら馬券を買うのも面白いと思います。



今回、ばんえい競馬を見に行つてすごく楽しめたのですが、ばんえい競馬自体は衰退傾向にあるようです。昔は北海道内に4、5箇所あった競馬場も今では帯広だけになってしまいました。それでも北海道を開拓するときに活躍したばん馬には愛着があるようで、なんとかばんえい競馬を維持していきたいそうです。個人的にも北海道の伝統として残していってほしいと感じました。一般に観光で帯広に行くことはあまりないとは思いますが、帯広を訪れた際には是非ばんえい競馬を見てほしいです(通常開催日は土、日、月曜日)。

記者N

馬に乗ってみませんか？

北海道では、各地で乗馬を楽しむことができます。それも「馬場内引き馬」というような興味をそらない体験コースではなく、初心者でもトレッキングが楽しめる、上級者はエンデュランス(長距離馬術)が練習できるコースまで、様々なメニューがあります。

先日、北海道新冠郡で友人が経営する乗馬クラブへ行ってきました。ここには、初めて馬に乗る人でもトレッキングが楽しめるコースがあります。初めの20分ほどは、馬場で馬の動かし方・止め方と、並足から速足(トロット)までを習います。そのあといきなり山の中へ…トレッキングの始まりです。山の中では、急な斜面を下ったり上ったり、道草を食いたがる馬を自分の力でコントロールしながら進みます。1時間ほどのドキドキ体験ですが、すばらしい景色の中、気分は最高ですよ！詳しくは、

<<http://www.nomadoc.com>>
遊馬ランドグラスホッパーまで

Department of Animal Husbandry
Resources, Kyoto University,
Faculty of Agriculture
Oiwakekyo, Kitashirakawa,
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365

FAX 075(753)6365

http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN



GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で
成り立っています。形式・文字数は問いません。
また、読者の方々からのご意見やお問い合わせ
せも大歓迎です。下記のアドレスまでどしどし
送信してください。

E-mail: yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp

お知らせ

今月のゼミ

夏季休業に伴い、9月のゼミはお休みです。後期のゼミは10月6日
(火)からの予定です。なお、この期間中、学会および研究会へ向けて
の発表練習を行います。詳細は随時お知らせいたします。 ゼミ係

研究室の動向

酒井君 (M1)が、ネパールへの長期出張から無事帰国しました。ネパールのお
土産話に期待したいところですね。また、8月中に、卒業生の小島さんと椎野
君が研究室を訪問してくれました。お茶会や飲み会を通じて、卒業生との交流
が図れるのはとても嬉しいことですね！9月28~29日は、日本畜産学会第
111回大会(琉球大学)です。畜産資源からは、西尾君と柳君が研究発表を
する予定です。

今月のイベント

9月2日：おむら家で4回生の院試お疲れさま飲み会。少し遅くなりましたが、
4回生の頑張りに乾杯しましょう！！

9月14日：8月のお誕生日会。8月のお誕生日さんは、西尾さん、稲垣さん、
石田くんです◎今回のお題は抹茶ムースとバイクドチーズケーキ
と…☺です。お楽しみに♪ イベント係

今月のおみや



今月も北は北海道から南は九州…はたまた香港、
インドネシアまでたくさんのお土産をいただきま
した♪ご馳走様です！



2009年9月の飼育当番表

日	月	火	水	木	金	土
8/30	31	9/1	2 柳・稲垣 体重測定①	3	4	5
6	7	8	9 西尾・児嶋 体重測定②	10	11	12
13	14	15	16 竹内・加藤 体重測定③	17	18	19
20	21 敬老の日 イクバル	22 国民の休日 中川(靖)	23 秋分の日 石田	24 中川(智)・木村(知) 体重測定④	25	26
27	28	29	30	10/1	2	3

編集後記 新潟の山羊サミットでは、学校飼育動物としての山羊が前面に押し出されていました。ウサギやモルモットなどの小動物飼育と異なる点は「生徒が一人で世話をすることができない良さ」にあるそうです。そこに協力の精神や、相手を思いやる精神がおのずと生じ、コミュニケーションが生まれるということでした。一方、猿害対策に山羊を用いた事例では、5年が経過し、山羊と猿が仲良くなってしまったそうです～(^^;)。山羊はまだ奥が深いですね～。